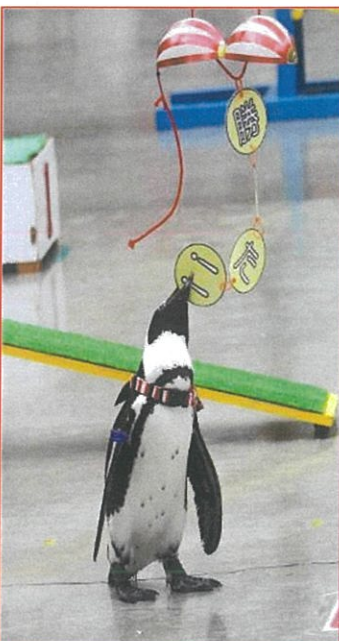


あおぞら



NPO 法人 あいかわ
 広報 VOL.58 2022.4.1
 編集 あいかわ工房編集委員会
 発行責任者 熊谷直丈
 ホームページ あいかわ工房 [検索](#)
 TEL 046-281-1157



オニオオハシ
 静岡県掛川にある花鳥園にて
 南アメリカの熱帯雨林に生息
 しているキツツキ科の鳥で大きな
 クチバシが特徴です。
 ブラジルの国鳥

大きな温室にベゴニアが天井
 から下がり、仕切られた室では放し
 飼いの鳥たちが飛び回り、餌を見
 せると肩や腕に飛んできます。



1羽? 2羽?



コロナ感染のご報告

私たちの任務は福祉サービス事業として、停滞の無いように勤めておりますが、残念ながら1月18日から20日に掛けて、3名の職員が新型コロナウイルスに感染してしまいました。

即座に利用者の皆さんには在宅支援に切り替えさせて頂き、残り4名の職員で毎日の健康状態を朝夕連絡させて頂きました。

町福祉支援課への報告と連絡・県へのインターネットによる日時報告を行い、保健所への連絡を致しました。

しかし、報道でもご承知の通り、保健所はその能力を超える患者数に対応しきれず、連絡しても一方通行で、具体的な指示も説明もなく、自宅療養中の職員は、心細い毎日を送っていました。何回も連絡をとる内に何とか返事が来ましたが、全く違う姓名を言われるなど、相当な混乱ぶりでした。やっと一人暮らしの職員へ配食サービスが届く様になりほっとする一幕もありました。

早朝から深夜まで大変なお仕事をされている、保健所の皆様には立場を越えて考えた時、感謝の気持ちと感染者が軽症だったからと胸を撫でおろしています。

3週間、お仕事を頂いている企業様には事情を説明して、発注を抑えて頂きました。

大器機械(株)様は社内で感染者が出た時のマニュアルを見せて頂き、更に抗体検査キットを50セットも頂きました。まさにBCCP(事業継続計画)そのもので大変参考にさせて頂きました。

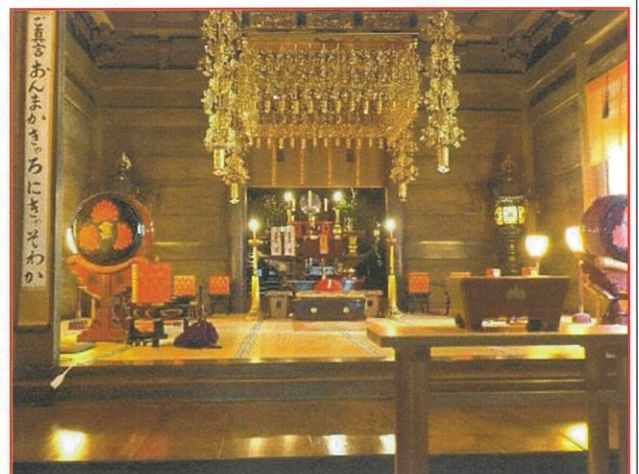
納期が迫っているお仕事につきましては、職員が手分けして間に合わせる事が出来ました。

やっと待ちわびた、通所再開を2月7日にしました。

家族感染の方も数名居られて、必要期間の療養後に通所して頂いております。

また、一人暮らしをしておられる方が感染してお話で、友人の方々に連絡をすると、食事や必要な物を玄関ドアの前に届けて貰えた。とのこと、日頃のご近所や友人とのネットワークの大切さが判ります。

まん延防止重点措置が解除されてもコロナウイルスが無くなったわけではありません。愛川町の感染者も依然として多い日が続いています。十分な対策を取りながら運営して参りますが、皆様のご協力もお願い致します。



滝行の人がいました 夕日の滝



富士山を背に 足柄峠

困った時の神頼み などと言われますが、3月12日(土)に曹洞宗の名刹 大雄山最乗寺で災厄消除・作業安全の祈禱を受けて来ました。帰りに足柄峠で富士山を見たり、冬至の日に夕日が滝口に落ちる夕日の滝などを巡って来ました。心機一転心が洗われました。



3月4日 避難訓練

火災想定の避難訓練を行いました
避難場所の前庭には黄色の丸印があり、それぞれの丸に立って貰うと人数確認がすぐ出来ます。

およそ1分30秒くらいで避難が完了しました。



ハラスメント職員研修 3月25日

町の人権擁護委員の野口さん 中村さん
大貫さん 小島さん 住民課の市川さん
法務局厚木支所の高原専門官の皆さん
からハラスメント(セクハラ・パワハラ)
について講義をして頂きました。



安全運行を励行しています 職員会議では安全運転管理者による交通法規・車のメンテナンスなどの安全運転講習を組み込んでいます



送迎車を2台入れ替えました パラリンピック仕様で車イス搭載と座席の昇降が出来る特別仕様になっています



デザインが目立つので運転者は走行中に注目されるので、安全運転を強く意識しています 利用者さんも楽しそうです



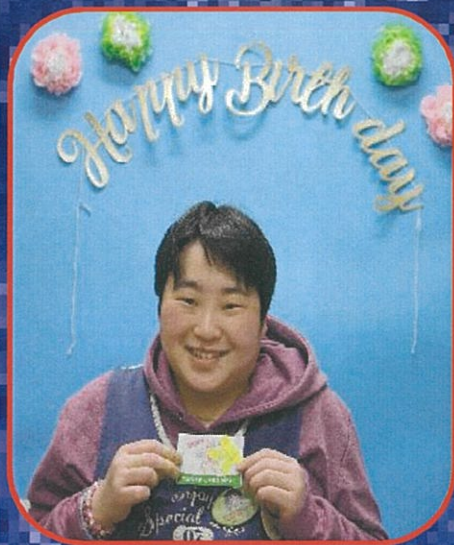
従来の2台と併せて4台で運行しています 全車 車イスを搭載できる仕様です



1月生まれ 山羊座



3月生まれ 牡羊座



1月生まれ 山羊座



3月生まれ 牡羊座



1月生まれ 山羊座



1月生まれ 水瓶座

お誕生日おめでとう

みんなのまね



愛川町より、私たちエッセンシャルワーカーとして勤務していることに対して感謝の意を込めた、フラワーアレンジメントをお届け頂きました。
この様なお心遣いをして頂き、改めて私たちの仕事に誇りを持ち、更に努力していく力を頂きました。有難うございました。

エッセンシャルワーカー(社会機能維持者)

新年度を迎えて

桜の花が綺麗に咲きそろうい、お母さん・お父さんに手をひかれて新一年生の楽しい学校生活の始まりですね。

コロナウイルスのためにはマスク着用での入学式も、長い人生の中の1コマで、長じた時には想い出話になるのではないのでしょうか。しかし、3回目のワクチンがかなり接種されたとは言え、若い方達は遅れており、感染者が減らない状態で気をもんでおります。

誰がいつ感染してもおかしくない状況での事業運営は本当に気を緩められない毎日が続いています。思いもよらず感染した人たちの症状は軽く、安堵しておりますが更に気を引き締めて、施設内の衛生管理に万全を尽くしてまいりたいと思っております。

町からも素敵なフラワーアレンジメントを頂き、お仕事の大切さを心にとめて新年度を頑張つて行きたいと思えます。

さて、令和3年度の決算にはもう少し時間が掛かりますが、概要としては予算と大きな相違なく運営出来たものと考えております。コロナ感染での1月2月は

40%以上の減収となりましたが、3月には皆さんに頑張つて頂きまして増収になりました。またそれまでの皆さんの頑張りがあつたので、平均工賃の月額3万円と時間額300円をオーバーすることが第一目標でしたが、共にクリアすることが出来ました。

この額をクリアするかしないかでは、給付金のランクが替つて、運営に大きな違いが出て参ります。

ご自宅で転倒骨折をされた方が居られたり、車いすを使われる方が多くなつて参りました。手などの力が弱くなつて来られた方もいらつしやいます。

色々な障がいの方それぞれに出来るお仕事をこれまで以上に多方面から頂けるように、多くの方々にご理解いただき対応をして参りたいと思えます。

5月からは産休・育休から1名の職員が復帰して参りますので、皆様への対応も厚く、職員の休暇も取り易くなるかと思えます。

どうか、この様な形での運営をご理解頂きまして、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

理事長

熊谷直丈